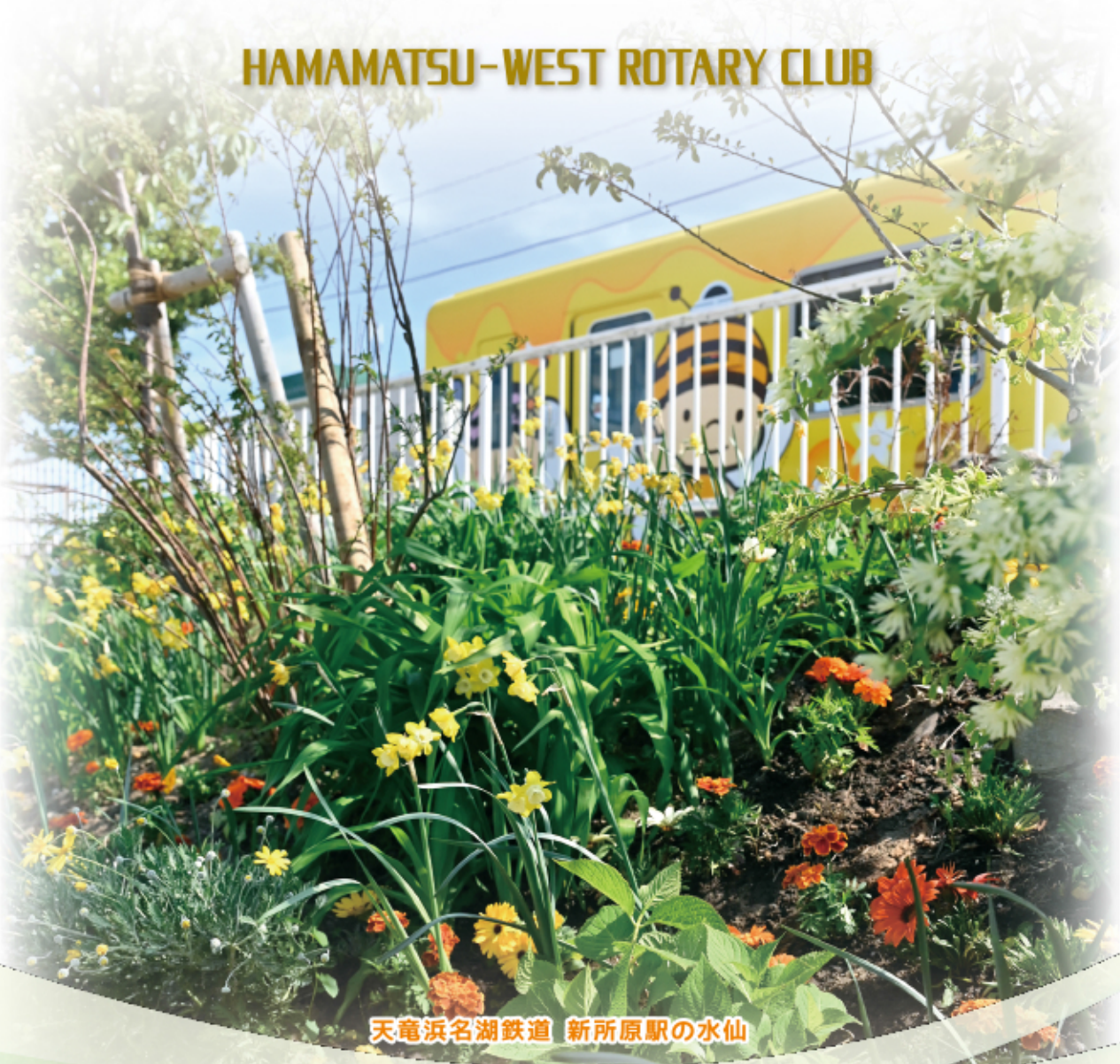


45th
Anniversary

HAMAMATSU-WEST ROTARY CLUB



天竜浜名湖鉄道 新所原駅の水仙

浜松西ロータリークラブ
創立45周年記念例会報告集

June 11th, 2022

■ 会長挨拶



2021～2022年度

浜松西ロータリークラブ 会長

渡 邊 記 余 子

本日はご多用の中、浜松西ロータリークラブ45周年記念式典にご参加いただきまして誠にありがとうございます。この情勢の中で、周年事業を開催できましたことはひとえに皆様方のご理解とご協力のお陰と感謝申し上げます。そして浜松市長鈴木康友様、2620地区ガバナー小林聰一郎様をはじめとするただ今ご紹介申し上げました大勢のご来賓の皆様にご臨席賜りましたこと心より感謝申し上げます。

浜松西ロータリークラブは1977年6月3日に創立メンバー27名で浜松北ロータリークラブのスポンサーにより、創立いたしました。

親クラブの浜松北ロータリークラブ様より

奉仕の理想の復旧 クラブの会員増強 クラブの拡大

そしてインターアクト、ローターアクトの結成をと高い志をいただきました。その志をまもり、創立より6年後にはオイスカ高校にインターアクトを結成し約15年継続いたしました。そしてクラブ拡大として7年後には浜名湖ロータリークラブのスポンサーとして創立に立ち会いました。

クラブ会員は現在50名となり、来年度山地会長年度には、オイスカ高校のインターアクトの再結成が予定されております。このように、浜松西ロータリークラブは諸先輩方の高い志と尊尚親愛(そんしょうしんあい)の精神を受け継ぎ、今でも会員同士の団結力が強く行動力溢れる会員の皆様がことあるごとに力を合わせ助けてくださるクラブであることにいつも感謝しております。

私がコロナ禍の中一年会長としてここまで務めてくることができましたこと、そして本日45周年記念事業を開催できましたこと、関係各位の皆様のご協力はもちろんのこと、浜松西クラブの会員の皆様のお力があつればこそとつくづく実感しております。

今回の45周年記念事業を仰せつかり先の読めないこの状況の中どのようにしたらよいものと不安に思うこともありましたが、周年事業だから何としても、どんな形でも執り行うことと目標を定めました。そして何か形に残るものとして、花のリレープロジェクト担当の湖西市新所原駅に45周年記念事業として水仙ピットの球根500球を植栽することといたしました。

今年の春水仙が咲きましたが、まだまだ咲き乱れるほどではありません。これから年を追うごとに球根がふえ咲き乱れるほどになることを願っております。また、この植栽事業で天竜浜名湖鉄道の伊藤様のご縁を結んでくださいました新所原自治会長井川まゆみ様との出会いは大変貴重なものとなりました。なんと、彼女が植栽した花々のために新所原フラワーエンジェルという花の会を立ち上げてくださいました。これから先もフラワーエンジェルの皆様と新所原駅の花たちを見守っていきたくて思っております。

また、本日の講演には薩摩焼きの陶芸家として有名な第15代沈壽官様にお越しいただきました。ご来場いただきました皆様には、15代のご講演をお楽しみいただければと浜松西ロータリークラブ会員一同心から願っております。また15代の繊細な名皿を本日の記念品にさせていただきますのでご笑納いただければ幸いです。

結びに、本日ご来場いただきました皆様のご健勝と、ますますのご活躍を祈念いたしまして、お礼のご挨拶といたします。

■ ビジョンを共有し地域で存在感あるクラブに 浜松西ロータリークラブ創立45周年記念式典に寄せて



2021～2022年度
国際ロータリー第2620地区ガバナー
甲府北ロータリークラブ

小林 聰一郎

浜松西ロータリークラブ創立45周年の記念式典に際しお祝いを申し上げます。誠にありがとうございます。

45周年という節目の年を迎えられ、渡邊記余子会長を始め会員の皆様が素晴らしい式典を挙行されましたことに敬意を表すると共に、コロナ禍においての直接対面形式での記念式典に出席さ

せていただくことが出来て本当に嬉しく思います。

さて、貴クラブは中長期戦略計画も、また委員会別アクションプランも作成くださっていて、しっかりクラブ運営をされているクラブだと思いますし、女性会員も多く在籍されていることもクラブの特徴ではないかと思えます。それが「仲間意識が心地よく」「協調性があり」「行動力がある」クラブを作っている原動力ではないかと思えます。

今年はコロナ禍の影響もあって、なかなか思うように活動が進まなかったかもしれませんが、奉仕活動を見させていただいても、「舞阪中学校の防災マップ作製の支援」、継続されている「花のリレープロジェクト」「常葉大学キャンドルナイトの設営、協賛」「ウエルカメクリーン作戦」など熱心に力を注がれてきております。また Mund・デ・アレグリアへの支援や COLORSへの応援など、地域のニーズに対応した奉仕活動も特筆に値すると思えます。クラブ内においては暑気払いや観月会、家族同伴親睦旅行、観桜会、クリスマス家族例会など満遍なくお楽しみも加えながら、友愛を育んでおられるご様子を伺うことができます。皆さんで和気あいのクラブ風土を継承して、さらに元気なクラブにしていっていただきたいと思えます。

渡邊会長は「計画を立て、目標を定め、その、目標を達成するようにビジョンが明確になってきている」とおっしゃっています。この考え方の基本となる方向性は、今の私たちに求められていることであり、伝統は革新することで継承され、生き続けるわけですから、古いままではなく、そこに新しい考え方や時代に適合する、もしくは少し時代の先に行くような新しい工夫というものが、クラブの新たな歴史を積み上げていく力になるのではないかと思います。そして時間の検証を経ながら、生き残り発展していくのだと思えます。

時間と共に積み重なるコトの多さ、豊かさ。それは会員皆さんが、友愛を育みながら活動してきた、また時には革新してきたことのクラブの歴史そのものですし、45年という珠玉となった皆さんの努力の結晶ではないかと思えます。

今年度私たちは、シェカール・メータRI会長が掲げられたテーマ“SERVE TO CHANGE LIVES”（奉仕しよう みんなの人生を豊にするために）のもとに活動を展開してきました。そして「DO MORE,GROW MORE」（もっと行動しよう、もっと成長しよう）に想いを重ねながらチャレンジしてきました。

人生哲学としてのロータリーと、奉仕実践のロータリーは、時として心の中での葛藤を生む場合もありますが、その両者のバランスの中こそ、今の私たちのロータリーはあります。精神的社会的運動体としてのロータリーと、「もっと行動しよう、もっと成長しよう」と呼びかけるロータリーとのバランスということになりますが、私たちはそこに友愛という要素を加え、互いに切磋琢磨する例会という楽しみを加えて、自己の向上を図りながら、人々の人生を豊かにするためにロータリー活動を継続してきたのではないかと思います。

創立してからの45年という歳月に思いを馳せ、チャーターメンバーから引き継がれてきたクラブ精神を共有し、今日を機として、「地域で存在感ある浜松西ロータリークラブ」をぜひお作りください。そして私が年度を通してお話ししてきた「新たな時代を生きるロータリー」を、このクラブで推進していただきたく思います。

ロータリーを学ばれた名士の皆さんがおいでになるクラブですから、会員皆様のご研鑽で、DO MORE,GROW MOREしながら、50年60年と、今後ますますご発展されますことを祈念させていただきお祝いの言葉とさせていただきます。

本日は誠にありがとうございます。

■ 来賓祝辞



浜松市長

鈴木康友

浜松西ロータリークラブの45周年にあたり心からお祝い申し上げます。

貴会は、昭和52年に市内で5番目のロータリークラブとして発足されて以来、地域における奉仕活動や外国にルーツのある若者に対する支援、市内中学校におけるデジタル防災地図作成協力などの事業を実施されてきました。会員の皆様におかれましては、会員間の交流や活動を通して、浜松市のみならず社会全体の発展に継続的にご尽力いただいておりますことに敬意を表するとともに、深く感謝申し上げます。

さて、近年、自然災害の激甚化や少子高齢化の進展、新型コロナウイルス感染症の感染拡大の影響によるデジタル化の急速な進展などにより、社会は大きく変容しております。

こうした中、本市では今年度の重点化テーマに「サステナブルな地域社会の創造」を掲げております。今後、市政を運営するにあたり最も重要なキーワードは「サステナブル」、いわゆる「持続可能性」になると考えております。

2015年に国連総会でSDGs(持続可能な開発目標)が採択されました。持続可能性は地球環境だけの問題ではなく、人口減少、少子高齢化が急速に進む中でサステナブルな地域コミュニティを構築していくことも重要な課題となります。

特に住民に直接サービスを提供している自治体にとっては最重要テーマであり、自助、共助、公助の再構築を進めていく必要があります。特に重要なポイントは、いかに共助型の地域や社会を構築するかという点になります。本市では、市内から2地区を選定し、住民が主体となる共助型組織の構築に向けた取り組みを進めております。会員の皆さまにおかれましても、ロータリーの活動を通じてサステナブルな地域社会の創造に変わらぬご支援、ご協力を賜りますようお願い申し上げます。

結びになりますが、「浜松西ロータリークラブ45周年記念式典」の開催にあたりご尽力いただきました関係者の皆様に心から敬意を表するとともに、本会のご成功と益々のご発展を祈念申し上げ、お祝いの挨拶とさせていただきます。

■ 招待者

浜松市長	鈴木康友様
浜松いわた信用金庫SDGs推進部 副部長	米澤浩祐様
天竜浜名湖鉄道株式会社 地域連携センター長	伊藤文俊様
RI 2620地区 ガバナー	小林聰一郎様 (甲府北RC)
RI 2620地区 パストガバナー	中山正邦様 (浜松南RC)
RI 2620地区 パストガバナー	岡本一八様 (浜松北RC)
RI 2620地区 パストガバナー	安間みち子様 (浜松ハーモニーRC)
静岡第5グループ ガバナー補佐	石津匡美様 (浜松北RC)
RI 2620地区 地区幹事	中尾均様 (甲府北RC)
静岡第5グループ ガバナー補佐事務局長	磯部宅司様 (浜松北RC)
浜松ロータリークラブ 会長	佐藤宏人様
浜松ロータリークラブ 幹事	杉浦政紀様
浜松東ロータリークラブ 会長	野嶋利章様
浜松東ロータリークラブ 幹事	高林裕孝様
浜松南ロータリークラブ 会長	山口宏規様
浜松北ロータリークラブ 会長	飯尾哲秀様
浜松北ロータリークラブ 幹事	小柳守弘様
浜北ロータリークラブ 会長	岩渕里司様
浜北ロータリークラブ 幹事	岩附礼人様
浜名湖ロータリークラブ 会長	小島明良様
浜名湖ロータリークラブ 幹事	杉山寿夫様
浜松中ロータリークラブ 会長	妻鹿政光様
浜松中ロータリークラブ 幹事	齋藤高子様
浜北伎倍ロータリークラブ 会長	鈴木雅彦様
浜北伎倍ロータリークラブ 幹事	平野守一様
浜松ハーモニーロータリークラブ会長	高部千奈美様
浜松ハーモニーロータリークラブ 幹事	井口眞孝様
パワー浜松ロータリークラブ会長	高貝亮様
パワー浜松ロータリークラブ 幹事	山下俊彦様
新所原フラワーエンジェル	井川まゆみ様
新所原フラワーエンジェル	平山菊代様
新所原フラワーエンジェル	帆刈澄代様

■ 実行委員長あいさつ



創立45周年記念実行委員会
浜松西ロータリークラブ 実行委員長

上 田 昌 宏

浜松西ロータリークラブ創立45周年記念式典開催にあたり、一言ごあいさつ申し上げます。

本日は多くのご来賓の方々をお迎えしての式典開催ができ、会員一同大変うれしく思っております。

本日の式次第にもありますが、多くの先輩方が残された、数々の活動実績を紹介させていただきます。特に今年度は、舞阪中学校と篠原中学校での防災マップづくりを行うなど、クラブ会員と地域の皆さんと一緒に考えて、一緒に活動することができ、まさに「奉仕の精神が地域社会の貢献」へと繋げることに成功しています。当クラブとして新たな事業が一つ完成しました。

このような活動を継続し、次の50周年、将来の100周年に向けて歩んでいく所存です。果たすべき役割も大きくなってまいりますので、より一層知恵を絞り汗をかき、行動してまいります。是非とも期待していただきたく存じます。

本日、ご出席をいただきましたご来賓、また多くの先輩方に、温かいご理解・ご鞭撻を賜りますようお願い申し上げます、開会の辞とさせていただきます。本日は大変にありがとうございます。

■ 浜松西ロータリークラブ 概要

名 称 浜松西ロータリークラブ
所在地 ホテルコンコルド浜松 〒430-0946 浜松市中区元城町109-18
電話〈053〉457-1116 FAX〈053〉455-4614
<http://www.hamamatsuwest-rc.com>
E-mail:hamamatsu-nishi@ri2620.gr.jp

創 立 昭和52年6月3日
承 認 昭和52年6月17日
例 会 金曜日 12:30~13:30
分 区 国際ロータリー第2620地区 静岡第5グループ